

平成25年6月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成25年6月19日（水）午後2時00分
- 2 閉 会 平成25年6月19日（水）午後3時15分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 審議事項
 - (1) 議決事項
 - 議案第5号 三木市教育委員会顕彰基準の改正について
 - 議案第6号 三木市社会教育委員の委嘱について
 - 議案第7号 三木市公民館運営審議会委員の委嘱について
 - (2) 報告事項
- 5 その他
 - (1) 次回定例教育委員会の開催日時について
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見	俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島	慶 子
	3番	教 育 委 員	稻 見	秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口	徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本	明 紀
事務局		教 育 部 長	山 本	公 大
		教 育 総 務 課 長	石 田	寛
		教育環境整備課長	井 上	博 務
		学 校 教 育 課 長	古 谷	昭 文
		文化スポーツ振興課長	松 村	正 和
		教育センター所長	梶 本	佳 照

図 書 館 長	告 野 幹 也
市 民 協 働 課 長	木 村 巧
教 育 総 務 課 主 査	石 田 英 之
教 育 総 務 課 主 任	堂 元 誠 二

傍 聴 者 1 人

◇ 会議内容

1 開 会

委員長が、平成25年6月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、松本教育長と水島委員長職務代行者を指名した。

3 会議録の承認

平成25年5月定例会の会議録の承認について、委員から一部表現について修正を求める発言があった。委員長がこのことについて委員に諮り、全員一致で承認された。

4 審議事項

委員長が、議事の進行について、議案第6号及び第7号は附属機関等の委員の委嘱に関する案件であるため、三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により、会議の最後において非公開で審議することについて委員に諮り、同意された。

(1) 議決事項

【議案第5号】 三木市教育委員会顕彰基準の改正について

○ 石田教育総務課長が次のように説明した。

三木市教育委員会顕彰基準を別紙のとおり改正することについて、教育委員会の議決を求めるものである。今回の改正内容は、まず1点目として、三木市教育委員会顕彰規則と三木市教育委員会顕彰基準との関連性を明確にすること。次に2点目として、教育の振興のために寄付をいただいた団体・法人に対し、感謝状を贈呈する基準を、「30万円以上」から「20万円以上」に改正するものである。改正理由は、市長部局の顕彰基準において、団体・法人から寄付をいただいた場合の感謝状を贈呈する基準が20万円以上となっていることから、三木市教育委員会顕彰基準においても、20万円以上に改めることにより、善意の寄付に対する感謝の意を広く表していきたいということである。

(委員) 顕彰基準は、市長部局と合わせないといけないのか。

(事務局) 教育委員会は、市長部局とは独立した機関であることから、市長部局の顕彰基準に合わせなければならないことはないと思う。しかしながら、一つの地方公共団体の中で、同じ善意の寄付に対し、感謝を表する基準が部局によって違うということは適切ではないと考えるため、市長部局の顕彰基準と合わせたいと考える。

(委員) 市長部局の顕彰基準と合わせてもいいと考えるが、なぜ「20万円以上」なのかということである。

(事務局) 市長部局が教育委員会の顕彰基準に合わせ、「30万円以上」とする案もあると考える。しかしながら、基準の金額を引き上げるということは、顕彰の対象が狭くなり、市民目線からしても、いままで感謝状をもらっていたものがもらえなくなったということになるため、教育委員会の顕彰基準を引き下げ、いままでよりも広く感謝の意を表すこととし、顕彰基準の改正を提案することとした。

(委員) 今回の顕彰基準の改正に当たり、事務局から改正理由の

説明があったが、資料に改正理由を記載されたい。いまの資料には、改正理由が記載されていない。規則等の制定、改廃の場合には、資料に制定、改廃の理由を記載されたい。

(事務局) 今後、規則等の制定、改廃の場合は、資料に制定、改廃の理由を記載することとする。

(2) 報告事項

ア 学校教育課報告事項について

○ 古谷学校教育課長が次のように報告した。

第3回定例校園長会を6月7日に実施し、生徒指導について、交通安全指導について、平成26年度公立学校管理職等採用候補者の市教委による選考について、同和教育伝承講座について、夏季教職員人権研修会について及び教職員同和教育研修会について周知した。また、第1回三木市学力向上推進委員会の報告を行うとともに、学校関係者評価研修会について協議を行った。さらに、今年度の相馬市との交流事業について周知した。

主要行事については、三木東中学校、緑が丘中学校、三木中学校、志染中学校及び星陽中学校が修学旅行を実施し、今年度実施予定の中学校の修学旅行がすべて無事終了した。また、自然学校については、志染小学校、吉川三小学校連合が5月27日から、自由が丘小学校が6月3日から、広野小学校が6月10日から、三木小学校が6月17日から実施した。さらに、6月4日に吉川中学校において、三木市教育委員会計画指導訪問を実施した。

今後の予定については、別所小学校と三樹小学校が6月24日から自然学校を実施する。また、6月20日に第1回同和教育伝承講座を実施する。講師として有正省三先生をお招きし、同和教育における三木市の指定教材の指導案づくりについて講演をしていただくこととしている。6月27日には学校関係者評価研修会を実施する。講師として兵庫教育大学の廣岡先生をお招きし、今年度の学校関係者評価委員を対象に、学校関係者評価の目的、方法等の研修を行う予定である。6月28日及び29日には、三木市中学校総合体育大会を実施する。教育委員会の計画指導訪問については、6月26日に口吉川小学校、7月1日に東吉川小学校、7月3日に別所小学校と幼稚園において実施する予定である。7

月6日には、平成26年度公立学校管理職等採用候補者の市教委による第2次選考試験を行う。7月8日に第4回の定例校園長会を行い、7月30日に教職員人権教育研修会を行う予定である。7月30日の人権教育研修会については、講師として大阪教育大学の土田光子先生をお招きし、「学びでつながる学習集団づくり」のテーマで研修を行う。

イ 教育センター報告事項について

○ 梶本教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業について報告する。研修会については、5月28日に「授業に活かす三木市の史跡めぐり」を行い、5月31日に校務の情報化に関する研修を行った。また、6月17日、18日には、「Answer講座」を行った。教育相談については、5月は電話162件、面接66件、合計228件であった。青少年悩みの相談については、5月は電話1件、面接28件、合計29件であった。不登校対策適応教室事業については、校外活動として、さつまいもの植付けと加古川漕艇センターにおける活動を行った。今後の予定については、7月9日、16日に「Answer講座」、6月20日、28日、7月18日に発達教育相談を行う。適応教室の行事については、7月4日に校外学習として陶芸体験を行う予定である。

次に青少年センターの事業について報告する。巡回パトロールについては、5月31日、6月14日の子ども安全・安心の日において、職員が朝の交通立ち番を行った。また、5月、6月の延べ11日間において、女性班によるパトロール及び白ポスト回収を行った。さらに、6月14日には、深夜補導を行った。その他については、6月14日に兵庫県青少年補導センター連絡協議会第2回理事会所長会を三木市で開催した。今後の予定については、白ポスト回収等を行うとともに、6月29日には、青少年補導委員会人権研修会を開催する予定である。

ウ 文化スポーツ振興課報告事項について

○ 松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

三木市の花「さつき」展覧会を6月1日、2日の2日間、山田錦の館及び道の駅みきで開催した。出展総数は、両会場合わせて

108鉢であった。なお、来場者の総数は、2会場合わせて788名であった。少年スポーツ大会陸上競技の部については、6月9日に三木総合防災公園第2陸上競技場で開催した。参加者は、小学校の5年生、6年生、延べ270名であった。

今後の予定については、7月13日に大河ドラマサミット in 三木を開催する予定である。午前11時から12時頃までについては、平井の竹中半兵衛の墓所において、竹中半兵衛公の法要が行われる。午後2時から4時15分までについては、大河ドラマサミットとして、中央公民館4階大ホールにおいて開催する予定である。ドラマサミットは、播磨学研究所の黒田官兵衛研究懇話会代表である富士本健氏が「黒田官兵衛と大河ドラマ」をテーマに、「三木合戦における半兵衛・官兵衛」をサブテーマとして基調講演を行う予定である。また、2部として、竹中半兵衛ゆかりの岐阜県垂井町及び大野町の方、黒田官兵衛ゆかりの姫路市の方並びに半兵衛、官兵衛ゆかりの三木市からそれぞれ取組報告を行う予定である。入場は無料で、定員は250名を予定している。

次に（仮称）三木市立総合体育館建設検討委員会の設置について報告する。総合体育館の建設については、平成3年以降、総合体育館を建設する計画があった。しかしながら、阪神大震災以降、市の財政状況の悪化など情勢の変化があり、総合体育館建設の計画が進んでいなかった。そのような中、屋内競技団体から総合体育館の建設に向けて検討してほしいという要望があったため、三木市立総合体育館検討懇話会を設置し、平成21年1月から平成25年3月まで10回開催し、検討を重ねてきた。その結果、総合体育館を建設する方向で話がまとまり、建設する総合体育館の機能等を検討するため、（仮称）三木市立総合体育館建設検討委員会を設置することとした。なお、この件については、6月14日開催の総務建設常任委員会において説明を行った。説明内容については、建設場所として三木山総合公園屋内プールの西側を予定しているということ。概算事業費として12億6千万円を予定しているということ。延べ床面積として4,000㎡を予定しているということ。なお、そのうち競技部分については、1,575㎡を予定しているということ。今後のスケジュールとしては、平成25年度には総合体育館建設検討委員会の立上げ及び基本計画の作成、平成26年度にはプロポーザル及び基本設計、平成27

年度には補助金の事前申請及び実施設計、平成28年、29年には補助金の交付申請及び建設工事、平成29年10月に開館予定と説明した。

次に三木市教育委員会の顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について報告する。日本画の作家西田真人さんから堀光美術館に日本画を2点、約35万円相当の作品の寄贈を受けたため、感謝状を5月28日に贈呈した。

(委員) 平成21年10月から平成25年3月まで10回開催した三木市立総合体育館検討懇話会とは、どのような会であったのか。

(事務局) 総合体育館の建設の計画が進まない中で、屋内競技団体から総合体育館について検討してほしいという要望があり、三木市立総合体育館検討懇話会を設置したものである。懇話会は、屋内競技団体の代表の方がメンバーであった。懇話会においては、他市の体育館について調査するとともに、建設するならばどの程度の規模の体育館とするか等について検討を行った。

(委員) 大河ドラマサミットについては、播磨学研究所の黒田官兵衛研究懇話会の代表が講演をされるが、同じ時期に三木フィルムコミッションにおいても、播磨学研究所の方が講師をされると聞いている。これらの事業については、お互い連携をして行っているのか。

(事務局) 教育委員会から連絡を取ることはしていない。共同で主催をしている市長部局が三木フィルムコミッションと調整を行っていると考えますが、確認は取っていない。

(事務局) 補足する。大河ドラマサミットについては、市長部局と教育委員会とが連携して実施する。三木フィルムコミッションも7月にイベントを実施する予定である。しかしながら、イベントのPRを別々に行うのでは効果が薄いため、広報みき7月号において、大河ドラマサミット、三木フィルムコミッションのイベント及びみつきいハイキングと大河ドラマ及び国の史跡指定を契機としたイベントをまとめて市民にお知らせする予定である。

(委員)ぜひ、そのように連携してイベントを実施してもらいたい。

エ 図書館報告事項について

○ 告野図書館長が次のように報告した。

図書館事業について報告する。新設図書館設計業務の委託について、プロポーザルコンペで最優秀者に選定された(株)佐藤総合計画関西事務所と6月6日に契約を締結した。当該設計業務の打合せについては、6月12日に第1回目を行い、7月末までに基本設計を仕上げ、8月から10月までに実施設計、11月及び12月には実施設計に基づく積算を行うということを確認した。

今後の予定については、新設図書館設計業務の打合せを継続して行っていく予定である。また、ブックスタート事業を乳児健診時及び1歳6か月児健診時に行い、おはなし会を三木市立図書館及び青山図書館は毎週土曜日、吉川図書館は第2土曜日と第4土曜日に行う。6月25日には第1回目の図書館協議会を開催し、平成24年度の図書館事業、平成25年度の図書館事業及び新設図書館の基本設計について御意見をいただくこととしている。6月30日には図書館ボランティアいどばた会議の開催を予定している。図書館を支える様々なボランティアの方々に集まっていたいただき、それぞれのボランティアの活動内容の紹介、意見交換を通して、本と人をつなぐ各団体間の交流を深めていただこうと考えている。ボランティア団体9団体に参加する予定である。また、ストーリーテリングを7月14日に行う予定である。

次に広報みき7月号の掲載予定記事について報告する。小学校5、6年生を対象に「調べ学習講座」を開催する。図書館の図書を使った調べ学習の方法を子どもたちに教えるもので、7月22日に三木市立図書館、7月30日に吉川図書館、8月1日に青山図書館で行う。また小学校1年生から3年生までを対象に「子ども工作教室」を開催する。これについても図書館の図書を活用して工作をしてもらうということを考えている。さらに「ぬいぐるみのおとまり会」を8月3日に吉川図書館で行う。子どもたちはぬいぐるみを持参するとともに、夕方のおはなし会に参加し、ぬいぐるみだけが図書館に泊まり、翌日に子どもたちがぬいぐるみを迎えに来るという内容である。最後に、広報みき7月号に掲載

予定の新設図書館の記事について報告する。新設図書館の概要について、外観のイメージ図を添えて掲載をする予定である。

(委員) 「ぬいぐるみのおとまり会」というイベントの報告があったが、これは実にいいイベントである。子どもたちは、ぬいぐるみが大好きであるし、ぬいぐるみへの愛着も強いため、このイベントに参加すると、自分の妹や弟がお泊まりに行くような感覚になり、本と図書館に対する興味や関心を持つことにつながると考える。

(委員) 「ぬいぐるみのおとまり会」は、吉川図書館が独自に企画したものか。

(事務局) 全国的には先進事例があり、吉川図書館が先進事例を参考にして企画したものである。

(委員) 現在、他の自治体において図書館を単なる図書館ではなく、まちづくりの一環としてとらえるという動きがあり、それが大変成功している事例もあるようである。そのような事例も調査していただき、例えば図書館協議会等において意見交換や協議をされたい。

(委員) 今後、図書館協議会や図書館ボランティアいどばた会議等において新設図書館について説明し、意見交換を行うとの報告であったが、こういうことは、ぜひ積極的にやってもらいたい。図書館はいろいろな人に支えられており、新設図書館についても市民等の参画を進めていくことになると思うため、図書館の支援者や応援者をどんどん増やすような取組を行ってほしい。

5 その他

(1) 次回定例教育委員会の開催日時について

委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成25年7月17日(水)、午後2時から開催することを決定した。

(非公開)

議決事項

【議案第 6 号】 三木市社会教育委員の委嘱について

議案第 6 号は、三木市教育委員会会議規則第 7 条第 1 項ただし書きの規定により、非公開として審議したため、同規則第 2 3 条の規定により、内容については記載しない。

委員長が、議案第 6 号について採決を行い、全員一致で原案のとおり可決された。

【議案第 7 号】 三木市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第 7 号は、三木市教育委員会会議規則第 7 条第 1 項ただし書きの規定により、非公開として審議したため、同規則第 2 3 条の規定により、内容については記載しない。

委員長が、議案第 7 号について採決を行い、全員一致で原案のとおり可決された。

6 閉 会

委員長が、平成 2 5 年 6 月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。